



地域主導の再エネ・地域脱炭素 に関する取組事例集

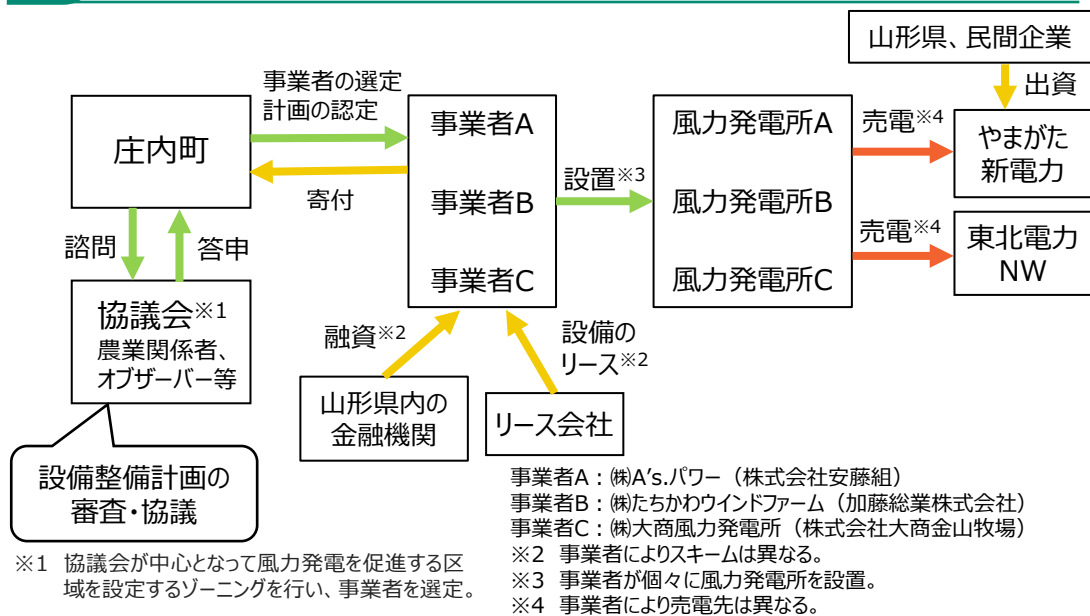
令和6年4月作成 令和7年3月改定
環境省



事業の概要

概要	庄内町は、強風をまちづくりに活かすことを考え、農山漁村再エネ法に基づいて基本計画を策定し、地域の事業者（3社）が、庄内平野東部の丘陵部に風力発電設備（12基、合計22.5MW）を設置している。
地方公共団体名	山形県庄内町
事業期間	2021年竣工
事業費	総事業費：約100億円 金融機関からの資金調達又はリース会社からの設備のリース
CO ₂ 削減量	約60,000MWh/年（計画値） 約38,000t-CO ₂ /年（計画値）

実施体制 | 事業スキーム



特筆すべき地域へのメリット・地域課題解決の効果

○風力発電事業が地域経済の活性化に貢献

売電で得た収入のうち、2022年度から20年間、**風車1基当たり年間100万円が町に寄付され、林道整備や農林業発展に活用**されている。風力発電事業者は、庄内町内の事業者2社と、隣接する酒田市内の事業者1社から成る。3社は地域の事業者として協力し、**風の町の風力発電事業に関わることで地域貢献をすることを目的**として事業を行っている。設備導入に当たっての土木工事や電気工事などの一部は庄内地域の企業が実施したほか、工事や点検の際に町内の宿泊施設や飲食店の利用があり、**地域経済の活性化に貢献**している。

○民有林の森林整備の推進

風力発電所は、丘陵部に設置されており、建設工事に伴って林道が拡幅されたことから、森林施業や間伐で発生し、その場に放置されがちだった木材の外部への運搬が容易になった。これにより、**民有林の森林整備の推進**につながっている。

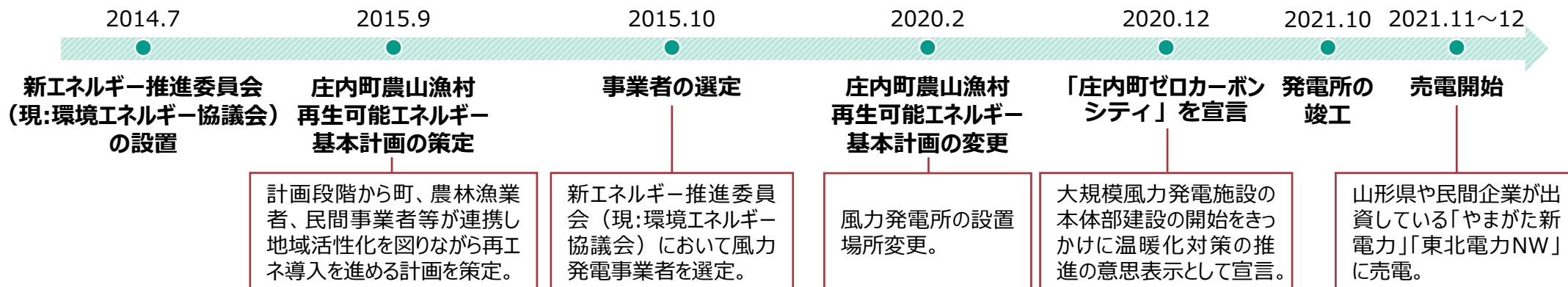
地域にメリットを生むための仕掛け

- 風力発電所で発電した電気は、山形県や民間企業（山形県内の企業を含む）が出資して設立された**自治体新電力**である「**やまがた新電力**」に**売電**されており、最終的に山形県に利益が還元される形となっている。
- 庄内町では、本事業での風力発電所の建設開始を機会と捉えて、再生可能エネルギーの積極導入、町民節電所等による省エネルギーの推進をはじめとする地球温暖化対策の更なる加速を意思表示するため「**庄内町ゼロカーボンシティ**」を**2020年に宣言**した。





事業の経緯 | 今後の予定



ポイント 町の計画で事業者の遵守すべき事項等を明記

- ・「庄内町農山漁村再生可能エネルギー基本計画」では、農林漁業の健全な発展と、自然と調和のとれた風力発電事業を推進するために、庄内町内で風力発電事業の実施を希望する事業者が遵守すべき事項を定めている。
- ・事業者には、地域貢献として、以下の2つを求めている。

- ✓ 事業者は、地域の農林漁業の発展や活性化に寄与するために、**事業収益の一部を寄付等の行為を通して地域に還元するよう努めること。**
- ✓ 山林の利用に当たっては、町、森林組合、林道組合等と協議し、町の森林整備計画に基づき調和を図るとともに、**間伐材利用や木質バイオマス利用に積極的に協力**すること。

- ・事業者選考審査は、新エネルギー推進委員会（現：環境エネルギー協議会）が行うことになっており、農業事業者等がメンバーとして入っている。
- ・当初から町が事業への協力姿勢を明示しており、事業への後押しがあった。町が丁寧なコミュニケーションを図ることによって、事業を進めるに当たって必要となる行政関係の手続（県での手続時の町職員の同席や助言など）や地域住民との合意形成（説明会での町職員の同席）などがスムーズに進んだ。



上空から見た風力発電設備



ポイント 地域住民との積極的な交流機会の創出

- ・町が中心となり、**風力発電所の視察や見学会などを開催**している。また、5～6kmの林道ウォーキング会と合わせて、風車の見学会も不定期で開催している。普段は立ち入ることのできない風力発電施設の中を見学でき、好評を得ている。
- ・視察や見学会などの参加者は、町の広報紙などで募集しており、**参加者の多くは地域住民**である。地域住民と事業者が交流の機会を持つことで、風力発電事業への理解を得ている。
- ・現在は、町からの依頼を受けて事業者が見学会を開催しているが、**将来的には事業者主体の開催や子ども向けのイベント開催なども視野**に入れている。



「風車群を歩く会」の様子

風車群からのお知らせ

新緑の中、風車村から山の上の風車群を歩きますか？

風車群を歩く会

風車村の風車群を歩いて移動し、風車の内部を見学しながら新緑の中を歩きます。お弁当も用意し、お土産も販売いたします。

飯倉は清川閣所でそばセット！

令和6年

6月1日（土）

9:00～14:00頃 / 受付 8:45

参加費 1,600円
(300円×緑会費1,300円)

定員 20名

申込期間 5月24日（金）まで

お申し込み先
庄内県風車村エコランド事務局 | 電話：風車村センター
0234-95-3361



担当者の声

山口 千賀子 様 山形県庄内町環境防災課

全国に先駆けて取り組んだ陸上風力発電等の再エネ導入を、本町の地球温暖化対策実行計画に基づき更に推進し、農山漁村の活性化や、地域防災拠点の強化など、地域課題の解決に貢献できる取組にしていきたい。また、電力の地産地消を実現するための体制整備も図っていく必要があります。

齋藤 徹 様 株式会社安藤組

庄内町（旧立川町）は、風のまちとして全国的にも有名で、昭和の時代から強風を発電利用するために、実用化実験を続けて、日本で初めて余剰電力を電力会社が買取る仕組みを制度化させたという風力発電の魁（さきがけ）の地です。これからも、地域の自然エネルギーを生かした事業を地元企業として取り組んでいきたいです。

海藤 俊和 様 加藤総業株式会社

本事業は、庄内町と地域の企業が協調しながら実現させた事業です。今後は、再生可能エネルギー電源を活用した電力の地産地消に向けた取組を進めていくことで、地域の脱炭素化を推進していきたいと思えます。

多田 佳明 様 株式会社大商金山牧場

弊社は経営方針に循環型農業と再生可能エネルギーの活用を掲げており、既設の太陽光発電・バイオガス発電に加え、今般、庄内町並びに地元風力発電先輩企業と一緒に風力発電事業に参加させていただきました。本事業を通じて地元庄内町の地域貢献の一助となれますよう努めて参ります。



寄付金贈呈式の様子



参考情報

参考ホームページ

- 独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構「風力発電の知っておきたい基礎知識 発電のしくみから素朴なギモンにお答えします！」
https://www.jogmec.go.jp/publish/plus_vol17.html

出典

- 公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）「大地と風を耕す 風力発電の先進地（山形県庄内町）シリーズ自治体担当者に聞く！脱炭素施策事例集」（2022年3月16日）
<https://www.wwf.or.jp/activities/lib/4926.html>

ガイドライン・事例集

- 経済産業省 資源エネルギー庁「事業計画策定ガイドライン（風力発電）」（2024年10月改訂）
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/fit_2017/legal/guideline_wind.pdf
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「日本における風力発電設備・導入実績」
<https://www.nedo.go.jp/library/fuuryoku/index.html>